



学校だより

金沢市立森本小学校
令和6年6月24日
7月号

校訓：強き 正しき 温かき

紫陽花に雫あつめて朝日かな 加賀千代女



◆挨拶の効果

毎朝、登校する子どもたちと挨拶を交わしているのですが、その挨拶がめきめきとレベルアップしていると感じます。「おはようございます」とさわやかに声掛けしてくれる子、目を合わせてくれる子、頭を下げてくれる子、one-stop（立ち止まって）で頭を下げてくれる子、目の前まで来て「校長先生、おはようございます」と言ってくれる子など、気持ちの良い挨拶をたくさんの子がしてくれます。子どもたちとの朝の嬉しいひとときです。

挨拶には「心を開いて相手に近づく」という意味があるそうです。そして、挨拶をすることで次のような効果があると言われています。

- 相手との最初のコミュニケーションになる
- 「私は元気です」のように、自分の様子を相手に伝えることができる
- 挨拶をされると「相手の様子（元気なんだね）」を自分を感じることができる
- お互いに挨拶をすると自分も相手も嬉しくなり、優しい気持ちになる
- お互いに挨拶をすると、仲良しの仲間になることができる
- 「あなたを大切にしている」ということが相手に伝わる

私は、最後の「あなたを大切にしている」ということが伝わるのがとてもいいなと思います。ちょっと気まずいと思う時でも挨拶をすることで関係がよくなることもあります。挨拶することは相手の存在を認めることだからです。

先日の学校公開週間で来校された地域の方が、森本っ子の挨拶がどんどんよくなっているとほめてくださいました。朝の登校を見守ってくださっている方です。登校班の子どもたちが、元気よく挨拶してくれる姿がその方の元気の源だそうです。何より嬉しい言葉です。

でも、一方で挨拶が受け身だと言われることもあります。自分から進んで挨拶ができるようになるとさらにレベルアップできますね。気持ちのよい挨拶が響き合い、相手を大切にするのできる森本小学校を目指します。

キラリ★森本っ子

先日、地域の方から嬉しいお電話がありました。公園の遊具が汚れていたため遊べなくて困っていた園児を見かけた4年生が、持っていたティッシュで拭いたり、ゴミを拾ったりしたそうです。誰かのためによいと思ったことができる森本っ子。本当にうれしく思いました。お知らせくださった方にも心から感謝申し上げます。

◆公開週間アンケートより

6月3日～7日の5日間、学校公開を行いました。たくさんの保護者や地域の皆様にご来校いただきましたこと、アンケートにお答えいただきましたこと、ありがとうございました。一部ですが、ご紹介します。

子どもたちの気づきや変化にできるだけ応えようという先生の対応に丁寧さを感じた。（一つ一つほめる言葉など）トラブルがあった際も単に終わらせずに、子どもの気持ちに寄り添ってくれる姿があり安心した。

子どもの発言をひろって、子どもたちがしっかりとその発言内容を聞くということを大切にして進められていて良かったと思います。

森本っ子の学習態度を中心に見て回りました。以前の森本っ子と比べると、①全員が学習に取り組んでいる ②人の話を聞いている ③掲示物に努力の跡がみられる 努力を重ねる児童に育ててください。

租税教室はとても分かりやすくてよい授業の取り組みだと思いました。子どもたちが税金や政治に身近に興味を持てるので、参考になりました。

職員や子どもたちの姿をあたかく見ていただきありがとうございます。本校のよさとして、これからも大切にしていきたいと思っています。

2限目から教室に入りました。窓が閉め切られていて、暑いと感じました。熱中症などがこれから心配な時になります。子どもたちはとても元気に楽しそうに授業を受けていたと思います。

ご指摘いただきありがとうございます。子どもたちにとって安全な環境を整えることはとても大切です。安全・安心な環境づくりに一層配慮してまいります。

体育は教室より話を聞かず、動いている子が多いなと思いました。

子どもの態度が多様化しており、先生が大変。子どもたちも大変。子どもたちが自由すぎかなと思いました。

学びの土台をつくるには「聞く力」を育てることが大切だとも言われています。子どもたちの聞く力をしっかりと育てるため、保護者の方と連携しながら指導を進めてまいります。

公開が1限からになるのは難しいでしょうか。仕事の休みをとるときに1限からみられるととてもありがたいです。

ご意見ありがとうございます。朝は、子どもたちの出欠状況の確認や登校のサポート等で慌ただしくしているため、申し訳ありませんが、参観を見合わせております。

この他にもたくさんの貴重なご感想・ご意見をいただきました。ありがとうございます。今後の学校運営に生かしてまいりたいと思います。なお、ご不明な点がございましたら、いつでも担任または学校までお問い合わせください。

◆親子読書のすすめ

毎月第4水曜日は「親子ふれあいデー」として、親子読書をおすすめしています。親子で読書の時間をもつことにはとても魅力があるからです。どんな魅力があるのでしょうか。



(※「Z会おうち学習ナビ」を参照しています)

幼児期の読み聞かせには、大人との信頼関係を築いたり心理的な安心感をもたらしたりする効果があります。子どもにとって読み聞かせは、大好きな人と過ごす時間の一つだと思います。まだこの時期は自分では読むことができないのでだれかに読んでもらいます。大好きな人からお話を読んでもらい、「おもしろいな」「次はどうなるんだろう？」と感じる経験を共有するうちに、笑ったりドキドキしたり感動したりという感情をまるごと学んでいくということがあります。だれかと一緒に読むことによってそういう感情体験をしながら、本の読み方を学んでいるのです。

また読み聞かせは、スキンシップにもなります。お父さんやお母さんのひざの上や添い寝などでトントンしながら絵本を読んでもらうと、その心地よい経験そのものを、子どもは、本を読むことの心地よさと結びつけて認識します。そして、親子で一緒に絵を指さしながら絵本を読むことで、お話を楽しみ、お話の読み方を知り、そして文字にも気づいて興味をふくらませていきます。

中学年や高学年になると、「自分で読むのは好きじゃないけど誰かに読んでもらうのは好き」や「誰かに読んでもらうのではなく、一人で読むのが好き」のように、好みがはっきりしてくることがあります。そんな時は、お子さんに合わせていくことが大切です。「親が子に読み聞かせる」「子が親やきょうだいに読み聞かせる」「場や時間を共有してそれぞれ別の本を読む」「1冊の本を各自で読んで感想を共有し合う」などやり方は様々あります。

特に、同じ本を家族で読み合い、感じ方の違いを話し合うことで、人の話を聞く、自分の考えと比べながら聞く、考える、様々な考えにふれる・・・など学ぶ力が育ちます。親子でゆったりと話し合うことは、「私の話をしっかり聞いてくれる」「何があっても親は味方」という気持ちもを育みます。この気持ちが、心を安定させ、他者や問題を受け入れ、何事にチャレンジする前向きな姿につながっていきます。そんな心豊かでたくましい子になってほしいと願い、「親子読書」をすすめています。

おうちの方の感想より

毎月のふれあい読書は親子とも楽しみです。今日は本を選ぶときから楽しそうで、読むときもセリフのところの声を变えながら読んでいてびっくりしました。次のふれあい読書もお互い楽しんで読み聞かせをしたいです。

おもしろい本を選んできてくれてありがとう！
悪いことをするといろいろなおそろしい地獄へつれていかれるというテーマでお話がすすんでいったね。とてもおもしろかったね。悪いことは絶対してはいけないと教えてくれる本だなあと思ったよ。また、おもしろい本を見つけてお母さんに教えてね！